

「第5回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」開催要項

1. 趣 旨 本集会は、全国の学生ボランティアやこれらの学生を支援する大学、関係機関等が一堂に会し、交流プログラムやシンポジウム等を通して交流と学びを深めるとともに、ボランティアを支援する大学と地域担当者間の連携協力を深め、ネットワークを構築する機会とする。
2. 主 催 国立青少年教育振興機構
3. 後 援 文部科学省、(独)日本学生支援機構(申請中)
4. 特別協力 公益財団法人上廣倫理財団
5. 協 力 日本ボランティア学習協会
6. 期 日 平成29年3月3日(金)13時~3月5日(日)12時15分 2泊3日
7. 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区代々木神園町3-1 小田急線「参宮橋」下車徒歩約7分
8. 対 象 学生ボランティア、国公立大学・私立大学学生ボランティア担当教職員、関係機関職員等
9. 定 員 600名(先着順)
10. 日 程

	13:00	16:00	19:00	21:00
3日 (金)	受付	I 開会行事・オープニング ・オープニングパフォーマンス ・主催者、来賓挨拶 ・学生シンポジウム	宿泊室移動 夕食	II 交流プログラム
	9:00	12:00	16:00	18:00
4日 (土)	III 学生分科会：第1~10分科会 IV 支援者全体会：AM 全体会 PM 第1・2分科会	移動	休憩 夕食	V 全国学生ボランティア 「アクションマーケット」 (全国交流見本市)
	9:15	12:15		
5日 (日)	VI 閉会行事 ・分科会共有タイム ・クロージングシンポジウム ・クロージングメッセージ	終了		

11. 内 容

3月3日(金) 第1日目

I 開会行事 カルチャー棟大ホール

(1) オープニング(13時00分~13時30分)

- ・オープニングパフォーマンス 高崎健康福祉大学 和太鼓集団「舞」
- ・主催者、来賓あいさつ
- ・企画運営委員、学生委員の紹介

(2) オープニングセッション(13時30分~15時30分)

- ・学生シンポジウム「わたしのきっかけ、あなたのきっかけ~ここからはじまる第一歩」

シンポジスト 北林 和樹氏(兵庫教育大学3年・ネイチャーサークル部・ひょうきょう link 代表)

菅原 詢 氏 (東北学院大学3年・@plus 代表補佐)

行武 弘貴氏 (法政大学3年・学生団体 SWITCH 前代表)

コーディネーター 阿久津 風樹(東北福祉大学) 鈴木 康広(神奈川工科大学)

近藤 常葉(首都大学東京) 中島 早穂(神戸大学・国立曽爾青少年自然の家)

II 交流プログラム

(1) 学生交流会

時間：19:00～21:00

会場：カルチャー棟大ホール ホワイエ・リハーサル室等

内容：レクリエーション、自己紹介、地域交流等

(2) 支援者情報交換会

時間：19:00～21:00

会場：センター棟「カフェフレンズ」

内容：名刺交換、地域交流等 ※参加費：2500 円予定

3月4日(土) 第2日目

III 学生分科会

(1) 学生分科会 A「社会課題」

第1分科会 地域創生・地域づくり

地域に恋をしよう～学生が変わる?! 動きたくなる原動力の場～

あなたは地域の魅力を伝えられていますか? 全国の学生から見て、意外なことが魅力かもしれないという「発見」、全く違う地域から見た新しい視点を「刺激」として取り込み「人と人」「人と地域」「地域と地域」の繋がりを大事にし、魅力を伝えるための課題を解決する「きっかけ」を仲間とともに考えていきます。地域で行動に移したくなるような分科会を一緒に作り上げていきませんか?

時間：9:00～16:00

会場：オリンピックセンター

内容：事例報告、グループトーク、協議等

対象：地域で活動している方、新たな活動を考えている方や新たなつながりを創りたい方等

事例報告者：加藤 拓馬氏（一般社団法人まるオフィス代表理事）

森本 コン氏（学生団体「ATMU!」元メンバー）

コーディネーター：阿久津 風樹（東北福祉大学）大場 康輝（岐阜経済大学）

仲村 有貴（聖徳大学）

第2分科会 国際交流・国際協力

世界を変えるのは、一人ひとりの一歩から!～見つけよう! あなたができる国際交流・国際協力～

今なお、貧困、紛争、環境汚染、…様々な地球規模の問題が起きています。「もっと実情を知りたい、何か活動をしたい!」、でも…「何ができるの?」不安に考える学生の皆さん! この分科会では、そんな世界の課題に対して活動している学生ボランティアの話を聞いて、あなたができる活動のヒントを見つけられます。日頃暮らす地域にしながら、世界への一歩を踏み出せたら、きっとワクワクが止まらないはず!!

時間：9:00～16:00

会場：オリンピックセンター

内容：事例報告、グループトーク、ワークショップ等

対象：国際交流・協力に関心のある方や活動したいと考えている方等

事例報告者：矢倉 裕也氏（TABLE FOR TWO University Association 関東コアメンバー）

相良 早苗氏（NPO法人ACEインターン生・津田塾大学 学芸学部 3年）

竹島ひかり氏（NPO法人ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン

ユースプログラムインターン 文教大学国際学部 3年）

コーディネーター 阿部 里穂（昭和女子大学）志田 翔（盛岡大学）

第3分科会 オリンピック・パラリンピック

あなたがいないとはじまらない～わたしの街も、オリンピックの舞台にできる！～

2020年、東京オリンピック・パラリンピック。世界中から注目が集まり、東京が、日本が、世界が変わる。この数日間に向けて、あなたは何に取り組めますか？「関わりたいけれど、何をしたらいいかわからない…」そんなふうに考えているあなたへ。そのヒントが、ここでみつかると。東京だけじゃない！日本中が動き出す！あなたのオリンピックが、いま、はじまる！！

時間：9：00～16：00

会場：オリンピックセンター

内容：事例報告会、ワークショップ、グループトーク等

対象：2020年オリンピック、パラリンピックに関心のある方や活動したい方等

講師：後藤 光将氏（明治大学政治経済学部准教授）

事例報告者：田中 喬祐氏（Ascenders株式会社）

鶴田 沙弥氏（実践女子大学文学部4年）

コーディネーター 都築 則彦（千葉大学） 綿野 知洋（明治大学）

第4分科会 子供の貧困・学習支援

子どもの世界を広げるために～学生"ならでは"のチカラとは～

子どもの笑顔は好きですか。6人に1人の子どもが、貧困世帯と言われている現代社会。そんな彼らに私たちは何ができるのか。大人目線や子ども目線ではない、学生という目線から貧困という社会課題に対して、子どもに寄り添う大切さを一緒に考えてみませんか。

時間：9：00～16：00

会場：オリンピックセンター

内容：事例報告、課題別グループトーク、協議等

対象：子供を対象にしたボランティア活動をしている方や関心のある方等

事例報告者：佐藤 彰恵氏（慶應義塾大学看護医療学部2年 My Own Place 共同代表）

李 紀慧氏（慶應義塾大学看護医療学部2年 My Own Place 共同代表）

入澤 充氏（learning for all 学生採用マネージャー）

コーディネーター 近藤 常葉（首都大学東京） 鈴木 康広（神奈川工科大学）

古谷 美彩希（桐蔭横浜大学）

第5分科会 災害支援

災害 vs 学生～あなたは過去から何を得る～

熊本・大分地震が起こった時、あなたは何を想いましたか？この分科会では、熊本・大分地震の事例をもとに、私たちに出来ることを考えていきます。このフォーラムに集う全国の仲間たちと共に、いつか来たる災害にボランティアの力で立ち向かってみませんか？

時間：9：00～16：00

会場：オリンピックセンター

内容：事例報告、ワークショップ、協議等

対象：災害ボランティアの重要性を感じている方や関心のある方等

事例報告者：岩崎 貴夏矢氏（熊本県立大学総合管理学部3年）
後藤 咲生氏（熊本県立大学総合管理学部4年）
高橋 摩吏氏（新潟青陵大学看護福祉心理学部4年）

コーディネーター 田代 智也（千葉大学） 戸田 千晴（熊本県立大学）

(2) 学生分科会B「エンパワーメント」

第6分科会 ボランティアコーディネーション

あなたの想いそのままにしてちゃもったいない！

～ボランティアコーディネーションで変わる、わたしたちの”ボランティア”～

ボランティア活動を活性化させたい。だけど何か足りない。その想いは次のステップに進むための第一歩！私たち学生ならではのボランティアコーディネーションの力を聞いて、考えて、体感！全国の仲間と高めあいながら、想いを叶えるヒントを見つけ出そう！

時間：9：00～16：00

会場：オリンピックセンター

内容：取組紹介、ワークショップ・グループトーク等

対象：ボランティア活動を紹介したい、発展させたい方やボランティアコーディネーター等

事例報告者：

愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター学生スタッフ 石塚 千夏氏

大阪府立大学 ボランティア・市民活動支援センターV-station 学生スタッフ 田中 伸樹氏

高崎健康福祉大学 ボランティア・市民活動支援センター学生スタッフ 山本 琴美氏

コーディネーター 新井 優和（駒澤大学） 下室 友香（新潟青陵大学）

中島 早穂（神戸大学・国立曾爾青少年自然の家） 吉松 美穂（茨城大学）

第7分科会 ボランティア入門

ボランティア入門～あなたの入口こちらから「ひらけ！ボラ」

これからボランティアを始めたい人！welcome！あなたが動くことでいろんな事が変わっていくって、ちょっと素敵だと思いませんか？ほんの少しのきっかけで、あなたが、社会が、どのように変わるのでしょいか。私たちと一緒に、一歩踏み出してみませんか？

時間：9：00～16：00

会場：オリンピックセンター

内容：事例報告会、課題別グループトーク、協議等

対象：ボランティア活動を始めたい方等

事例報告者：稲葉 滉星氏（神戸大学工学部4年 持続的災害支援プロジェクトKonti 代表）

遠藤 沙恵氏（東北福祉大学4年 みなとのまち100km徒歩の旅学生スタッフ）

コーディネーター 板垣 碧（新潟青陵大学） 金川 達也（中国学園大学・国立吉備青少年自然の家）

川野 史織（昭和女子大学） 塩崎 克樹（日本文理大学）

第8分科会 ボランティアの可能性と未来

ボランティアは社会を変えられるのか?～可能性と未来を本気で考える場をつくりました～

ボランティアってなんなんだ!人の為、自分の為、楽しいこと、辛いこと、色々あるけど仲間と深く話す機会は意外とない。ボランティアが無かったら困るのか、ボランティアにどんな可能性が詰まっているのか。一人一人の疑問や想い、この分科会で考え、深めていきましょう!

時間:9:00~16:00

会場:オリンピックセンター

内容:事例報告、課題別グループトーク、協議等

対象:ボランティアの可能性や未来について語り合いたい方等

事例報告者: 小野田 暁氏 (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部3年)
藤本 実咲氏 (創価大学経済学部4年・NPO法人セブンスピリット元インターン生)
松野 美砂氏 (長崎大学教育学部3年 学生団体「つなぐ」代表)
森山 誉恵氏 (特定非営利活動法人3keys 代表理事)

コーディネーター 飯森 正樹(桐蔭横浜大学) 土屋 陽太(愛知淑徳大学)

(3) 学生分科会C「活動形態」

第9分科会 ワークキャンプ

その出会いがすべての始まりだった!～旅×ボランティア。世界が広がるワークキャンプ～

こんなおもしろいボランティア、やらないなんてもったいない!日常を飛び出して、国内外で共同生活をしながら、農作業や井戸掘りなど、地域の課題解決のお手伝いをするのがワークキャンプ。活動を通して、かけがえのない仲間や第2の故郷と出会う。そんな特別な体験してみませんか?

時間:9:00~16:00

会場:オリンピックセンター

内容:事例報告、課題別グループトーク、協議等

対象:ワークキャンプに興味、関心のある方や参加経験がありさらに参加してみたい方等

事例報告者: 小池 涼子氏 (NPO法人アクション元スタッフ)
松本 裕也氏 (ヤフー株式会社社会貢献本部)
村瀬 つむぎ氏 (NPO法人good!スタッフ)

コーディネーター 青山 聖(千葉大学) 半田 諒志(一橋大学)

第10分科会 法人ボランティア(国立青少年教育振興機構ボランティア)

私たちが考える今後の法人ボランティア～ボラミックスキャンプを終えて～

各国立青少年教育施設で活躍するボランティアとボランティアコーディネーターが一堂に会するボラミックスキャンプを平成29年2月に実施します。他施設の活動を知ること、自らの施設の活動を再発見し、想いを新たに交流の輪を広げます。私たちの活動を来年の法人ボランティアたちへ繋げることの出来る想いとは!?

時間:9:00~16:00

会場:オリンピックセンター

内容:キャンプ報告会、課題別グループトーク、協議等

対象:国立青少年交流の家・国立青少年自然の家法人ボランティア

コーディネーター:ボラミックスキャンプ実行委員会

※本分科会は、一般参加は受付けておりません。

IV 支援者全体会・分科会

対象：学生ボランティアを支援する大学教職員、NPO、行政職員等

(1) 支援者全体会

シンポジウム 地域に学び、地域に生きる～学ぶ意欲に灯をつける～

地域社会でのボランティア活動を通じて学生たちの成長や学習を促進させるためにどのような支援や連携が必要なのか？学生ボランティアの成長をテーマにそれぞれの取組と支援の工夫、そしてそのあり方を協議します。

時間：9：00～12：00

会場：オリンピックセンター カルチャー棟小ホール

シンポジスト 秋吉 恵氏（立命館大学共通教育推進機構准教授）

山崎 清治氏（NPO法人生涯学習サポート兵庫理事長）

平賀 研也氏（長野県立長野図書館長）

コーディネーター 興梠 寛氏（昭和女子大学コミュニティサービスラーニングセンター長）

(2) 支援者分科会

第1分科会

学生ボランティアフォーラム視察会～学生たちのいまを見る！聴く！探る！～

フォーラムの企画運営をする学生委員会は5回を超える合宿でプログラムづくりを行ってきました。その取組とその中で見えてきた学生達のいまと想いを紹介するとともに、各学生分科会を視察し、学生ボランティア達のワークショップや協議を視察します。

時間：13：30～15：30

会場：オリンピックセンター

内容：本フォーラムの企画運営の仕組みと学生分科会の視察

ガイド（ご案内）：本フォーラム企画運営委員

第2分科会

清泉女子大学ボランティアラーニングセンターの見学と事例報告～地域連携と運営ノウハウ～

センターは2006年4月に開設され、2016年4月よりボランティアラーニングセンターとして活動を行っています。とくに、学生の主体的な取り組みを大切に、職員が共に考え、その活動をフィードバックしボランティア活動を通じた学生の成長を支援しています。分科会ではセンターの見学とともに、学生ボランティアの成長をどのように支援しているのか？また、地域のボランティア団体のネットワークや地域社会との連携の工夫について事例報告を行っていただきます。

時間：14：00～16：00

会場：清泉女子大学ボランティアラーニングセンター（JR五反田駅徒歩10分）

内容：センター見学と学習支援、地域連携と運営ノウハウについての事例報告

コーディネーター 本フォーラム企画運営委員

V アクションマーケット

全国学生交流見本市 ～全国へ広がれ！あなたのアクション～

時間：18：00～21：00

会場：カルチャー棟大・小ホール「ホワイエ」、展示ホール

内容：エリアA「学生ボランティア活動情報発信」

エリアB「学生ボランティア協働・支援活動」

エリアC「学生ボランティアを募集するボランティア団体等」

3月5日(日) 第3日目

VI 閉会行事 カルチャー棟大ホール

(1) 分科会シェアタイム (9時15分～10時00分)

(2) クロージングシンポジウム (10時15分～12時15分)

おいでよ! カントリーサイドへ～ “いなか” は未来への宝石箱～

学生の未来を育むコミュニティの姿とはどこ? どんな「宝石箱」が秘められているかを、宝探しの”達人”たちが語り合います。

シンポジスト 小松 圭子氏 (有限会社はたやま夢楽代表取締役)

” 平賀 研也氏 (長野県立長野図書館長)

” 渡部 清花氏 (東京大学大学院総合文化研究科1年)

コーディネーター 興梠 寛 氏 (昭和女子大学コミュニティサービスラーニングセンター長)

12. 交通機関

- ・仙台・新潟(長岡経由)・名古屋・大阪(京都経由)方面からの学生ボランティアバス(往路のみ)を運行予定
- ・先着順で受付、定員に成り次第締め切ります。

13. 宿泊、食事

- (1) 宿泊はA棟(シングル・バス、トイレはユニット共同)になります。洗面用具、寝間着、着替えはご持参ください。
- (2) 食事については各自でお取りください。

14. 参加・アクションマーケット申込

- (1) 当機構ホームページにて受け付けます。
- (2) 申込みは先着順に、平成29年2月22日(水)まで受け付けます。但し、定員になり次第締め切ります。

15. その他

- (1) 旅行保険等には加入していません。必要な方は各自で事前にご加入ください。
- (2) プログラムや講師等につきましては、予告なく変更されることがあることを予めご了承ください。
- (3) 申込の際の個人情報、当機構規程に基づき管理し、本「第5回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」に関する情報提供、事業運営、当機構の広報の目的以外には使用しません。
- (4) 記録のために撮影した写真をHP、報告書、広報等に使用する場合があります。あらかじめご了承ください。

本件担当(お問い合わせ先)

国立青少年教育振興機構「第5回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」係

電話: 03-6407-7618 FAX: 03-6407-7699

メールアドレス: gakuseivo@niye.go.jp